

ユーラシアンホットライン

【ツアーを募集します】 格安の予定。本レターの最後に【寄付のお願い】があります。ご検討よろしく。

6月17日から、サハ共和国ツアー。夏祭りに参加、テティムの親たちとも交流の予定。

6月24日にハバロフスクから帰国するグループと6月26日にハバロフスク 北京経由帰国するグループがあります。

【サハ共和国動向】 →大野は、29日までハバロフスク、シカチアリヤンに滞在してキャンプ贈与手続きに従事します。

サハ共和国の伝統芸能創造国立劇場オロンホ劇場の芸術監督ポリソフ文化大臣と劇場の俳優ら20人が来日

能・歌舞伎の所作や劇場運営の研修のため、国立劇場を視察し、青柳正規文化庁長官と面会



青柳正規文化庁長官、河村潤子次長と面会した。



ロシア連邦サハ共和国で建設中の国立劇場オロンホ劇場の立ち上げのためかねてアンドレイ・サーピッチ・ポリソフ文化大臣が要望していた日本の伝統芸能の研修と国立劇場の運営に生かすための視察を目的として、日本サハ委員会の招きで来日、すでに4月4日から役者19人が能や歌舞伎の所作のレッスンを受け、14日にはポリソフ文化大臣が来日し、研修に加わり、17日、国立劇場を視察、

青柳長官との面会では、ポリソフ文化大臣が20年を超える任期の当初から日本の能、歌舞伎に興味を持ち、英雄叙事詩オロンホを題材とした舞台芸術の創造に携わってきたことが紹介され、広くアジアとの文化交流を進めてきたことが紹介された。またポリソフ大臣からは、英雄叙事詩オロンホには、東方の大きな三つの島にはヤクートに近い人が住んでいると日本人を指すと思われる記録があると紹介、青柳長官からは口誦で伝えられた叙事詩文学の豊かさを講える考え等が示され、30分ほど意見が交換され、ポリソフ大臣は6月に行われる夏の祭へ長官を招待すると提案された。

19日夕方には、江藤セデカ理事長を初めユーラシアンクラブの理事、2月1日一緒にヤクーツクを訪問し、テティム創設5周年コンサートに参加した愛川高校和太鼓部の指導者赤川猛さん、日本口琴協会代表の直川礼緒さんらと大臣夫妻が夕食会を行ない、和やかに懇談した。大臣は6月20、21日にサハ共和国で行う夏の祭（イシアフ・オロンホ）について、特別なプログラムを工夫し、ユーラシアンクラブ一行を迎えたと表明しました。懇談の途中には通訳のシシューキン・ピョートルさんの見事な口琴演奏が披露されました。

6月には、17日夕方成田を出発し、テティムの関係者宅にホームステイし、夏祭りに参加。24日ハバロフスク経由で帰国する人と、シカチアリヤン村を訪問する2つのグループに分かれるツアーを実施します。



慰霊と復興を祈る 2014 慰問ツアーを終えて

震災から 1 年の 2012 年 3 月 10 日から 13 日にかけて実行された「東日本大震災、慰霊と復興を祈る慰問ツアー」から 2 年、その後の状況と活動の今後を見据えるために 3 月 10 日から 12 日、前回と同じ石巻・南三陸町を訪ねました。参加協力者は 27 人でした。

今回は 10 日早朝に出発したグループ、10 日夜埼玉県桐生市で行われた「春を呼ぶヒマラヤの風コンサート」に出演したパンチャラマたちのグループ、夜に合流したグループ、翌日以降合流したグループとボランティア活動に柔軟性を持たせました。

10 日は石巻会場になる押切沼団地での準備として翌日に行うイベント案内チラシを各戸に配布、機材確認、炊き出し準備を行いました。

11 日、津波で倒壊した 3 棟のビルがある女川を再訪、1 棟は解体を開始していました。津波の力を改めて実感し、避難した高台を覆い尽くす津波の大きさにも胸を打たれました。次に、大川小学校に向かい前回も行った浦川治造さんによるアイヌの儀式「カムイノミ」を献花台にて行いました。ここは 74 人の子供たちが間違っただけで避難誘導のため犠牲になってしまい両親たちが現在提訴しています。再びこのような事態を招かないことを祈ります。



女川町ビル倒壊状況



大川小学校



献花台での「カムイノミ」

押切沼団地では、第一部で浦川さん主演のドキュメンタリー映画「カムイと生きる」を上映、第二部でパンチャラマとチョウタリバンド慰霊コンサートを行いました。

セデカ理事長提供のアフガニスタンのケーキ・レーズンを味わっていただき、炊き出しでは大野会長が準備した美味しいカレーを、(株)オンブルー提供のポカリスエットイオンウォーターなど召し上がっていただきながらの楽しいひと時を過ごしました。

後半には、真矢さんの整体も片岡さんの協力で行われ好評のうちにイベントを終えました。

石巻での会場確保に当たっては、当日が震災後 3 年の慰霊祭に重なりましたが自治会長の齋藤秀樹様の絶大な協力で行えました。協力いただいた石巻仮設住宅自治連合推進会の内海事務局長、阿部様、団地の伊勢様他皆様に紙面を借りてお礼申し上げます。



齋藤会長挨拶



「カムイと生きる」上映



慰霊コンサート

最終日は、南三陸町「平成の森」でボルドー副理事長に準備いただいたモンゴルスープと大野カレーを炊き出しからスタート、第一部「モンゴルフェスティバル」ではオットホンバイラの民謡、ウルグンの馬頭琴演奏、デルゲル他によるモンゴル相撲の実演が行われ、第二部「慰霊と復興を祈る 2014 コンサート」では、ネパールが生んだ Bansuri (横笛) の天才パンチャラマ、タブラ (指太鼓) のサラバンラマ、ベースの竹田弘樹、パーカッションの伊藤アツ志のチョウタリバンドがアジアの音楽の融合を聞かせてくれました。

この間、真矢さんが 10 名の方に整体を施し、来場された方にお土産の大豆菓子「ソイカラ」を持ち帰っていただき無

事ボランティア活動を終了しました。

前日(当日)にチラシ配布ができなかったことや、あいにくの天候で人の集まりが悪く、計画した責任者として深く反省しています。出演者の方には申し訳ありませんでした。



スープ・カレーの炊き出し



モンゴルフェスティバル



パンチャラマとチョウタリバンド

3 年たった今でも不自由な仮設住宅に暮らしている人々は、表情は明るくなっていましたがプライバシーのない生活にとても疲れ将来の見えない状況は 2 年前と変わっていません。

今後の活動をどうするのか一生懸命考えなければいけない、そして行動をどうするか？

参加ミュージシャン他；パンチャラマ、サラバンラマ、竹田弘樹、伊藤アツ志、セヌマヨシコ、オットホンバイラ、ウルグン、デルゲル、ジャロンドロー、チメド(順不同)

参加者；後藤文吾、後藤夫紀子、阿部美津夫、高橋七男、江藤セデカ、大野遼、バーポルドー、浦川治造、矢部誠、ナザファリン、ベンジャミン、伊東信行、真矢修好、片岡ツル、河野真一、斉藤桂子、佐藤秀子、宮内楨子、永田眞一(順不同)

<バイオマス産業社会ネットワーク(BIN)第 134 回研究会のご案内>

日 時：2014 年 4 月 16 日(水) 15:30~17:30
テーマ：「木質バイオマス活用がもたらす地域経済効果とは」(仮題)

講演者：松本 明氏(エックス都市研究所主任研究員)

会 場：地球環境パートナーシッププラザ

(東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学 1F)

地下鉄表参道駅より徒歩 5 分・JR 他渋谷駅より徒歩 10 分

<http://www.geoc.jp/access>

参加費：BIN 会員 無料、一般 1,000 円

チップやペレットなど地域の木質バイオマスを使うと、エネルギー費用の域外流出の抑制、域内関連産業への波及、域外からの資金獲得など、さまざまな地域経済効果が期待できます。

エックス都市研究所主任研究員の松本明氏は、この木質バイオ

マス活用の地域経済効果について、先進的な取り組みを進めている自治体等を対象に、調査研究を行ってきました。

今後、地域において木質バイオマスを導入する上で、どのような地域経済効果があるのか、どうすれば経済効果を拡大できるかという要素を盛り込むことは、非常に重要だと考えられます。

当日は、会場の皆様とともに、木質バイオマス活用の経済効果について、活発な議論ができれば幸いです。

参加をご希望される方は、下記よりお申し込みください。

<http://www.npobin.net/apply/>

サーバーの不調等で送信できない場合は、お手数ですがお名前、お名前ふりがな、ご所属、電話番号、E-mail アドレスをご記入いただき、E-mail: mail@npobinn.net までお送りいただければ幸いです。

<バイオマス産業社会ネットワーク(BIN)第 135 回研究会のご案内>

日 時：2014 年 5 月 15 日(木) 16:00~18:00

テーマ：「ドイツの木質小型ガス化 CHP によるエネルギー自立村」講演者：竹林 征雄(バイオマス産業社会ネットワーク副理事長)

会 場：地球環境パートナーシッププラザ

(東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学 1F)

地下鉄表参道駅より徒歩 5 分・JR 他渋谷駅より徒歩 10 分

<http://www.geoc.jp/access>

参加費：BIN 会員 無料、一般 1,000 円

バイオマス利用で先行するドイツですが、最近、注目を浴びている先進事例の一つが、木質ペレットを使った木質小型ガス

化 CHP(コジェネレーションシステム)による地域のエネルギー自立村です。バイオマス産業社会ネットワーク副理事長の竹林征雄は、先日、現地を視察しました。当日は、会場の皆様とともに、地域の木質バイオマスを無理なく無駄なく使う、木質小型コジェネレーションについて、活発な議論ができれば幸いです。

参加をご希望される方は、下記よりお申し込みください。

<http://www.npobin.net/apply/>

サーバーの不調等で送信できない場合は、お手数ですがお名前、お名前ふりがな、ご所属、電話番号、E-mail アドレスをご記入いただき、E-mail: mail@npobinn.net までお送りいただ

【インド通信】20号 ギリジャねえさんのこと

佐藤友美

[1986年生。幼少期をオーストラリアとシンガポールで、10代は埼玉県で過ごす。オーストラリア国立大学でサン スクリット語と日本語言語学を学ぶが、優等学位のために書いた論文は津田梅子に関するものだった。その後東京外 国語大学の博士課程前期に入学するも、現在休学してインド・ケーララ州で日本語教師として企業勤務。現在の主な 関心はケーララ芸能。]

識字率「ほぼ」100%と言われ、インドの優等生と思われて いるケーララですが、つい最近、読み書きができない女性に出 会いました。読む方はある程度できるものと思われませんが、詳 しく聞くのも憚られて、しっかりと確認していません。

私は現在、師匠宅で寝泊まりしていて、そこには朝食・昼食 の調理や他の雑用をする、お手伝いさんが一人入っています。 そのお手伝いさん、数ヶ月前に仲介業者を通してやって来た、 ギリジャという女性がその人です。

とても料理上手で、師匠の「今日の朝ご飯は、まずこのスパ イスとこのスパイスをこうして、それからあれをこうしてどう して……」という、数分に渡る説明を飲み込んで、いくつか確 認の質問をした後、ほとんどの場合は言われたものを忠実に再 現することができる有能さです(もっともケララ人なので、塩 と唐辛子をかなり強めに入れるくらいはありますが)。

また、この辺りでは珍しいことに(などと書くのは憚られま す、事実です。農家の娘だからでしょうか)非常に働き者で、 休んでいるところをほとんど見ません。多少無茶な要求があっ ても、特に文句を言うこともなくこなします。これも、珍しい ことです。

そして彼女は、何と云うか、かなり純粋なマラヤーラム語を 喋ります。というのも、ケーララではマラヤーラム語の会話で

も、多少英語の単語を入れて話してもある程度理解されてしま うところがあり、私が話す時も、「ミックスする」「チェックす る」「カットする」などの表現のオンパレードで、それはベンガ ル出身の師匠も同じことが言えます。ただ彼女には、そうした 怠慢な言語があまり通じません。野菜の名前でも、「ガーリック」「オニオン」「チリ」などの頻出英単語では通じず、全てマ ラヤーラム語。時々彼女に何かが必要かを確認してから買い出し に出かけるのですが、おかげで野菜のマラヤーラム語彙が増え ました。早口でまくしたてるような話し方の人が多い中、彼女は私の中途半端なマラヤーラム語にも付き合ってくれるし、こ ちらが分かるような会話の仕方をしてくれます。

要するに、優秀な人なのです。

文字が書けないと知った時は、本当に驚きましたが、ケーラ ラでは滅多にそういう話は聞かないので、不謹慎だとは知りつ つも、私はほとんど感動していました。

しかしそれにしても、これだけ英語に溢れた世の中で、よく もこれだけ、英語からの外来語を知らずに生きて来られたと思 います。新聞等を読む習慣も無いようだから(ということは、 やはり全く読めないのか?)逆に世間に馴染んでいる新語に馴染 まずにいられたのでしょうか。

【マレーシア通信】第21号 マレーシアの大自然 ~タマン・ヌガラ~

僕の記事を読んでどう思うか、またどんなことを書いて欲しいか等やレター全体に関する事等の外からの 反応があれば知りたいと思います。基本的には僕はマレーシアの面白い事を紹介していきたいと思っ ています。

板坂 優一

板坂 優一:

1983年生まれ。

北海道出身。2009年の冬からバックパックとギターを背負って中国からシリアまでアジア横断の旅へ。そこで見た『イスラムの 世界』に魅せられ、現在マレーシアのペナンにてアジアの文化、特にイスラム圏について宗教、社会などの勉強をしている。

マレーシア国内にはいくつかの国立森林公園があり、中でもマレー半島の北部の『タマン・ヌガラ』 (直訳でも「国立公園」だが、一般的にはこの国立 公園を指す)はトレンガヌ州、パハン州、クアンタ ン州の3つの州にまたがる総面積4343平方キロ メートルの広大な熱帯雨林だ。クアラ・ルンプール からバスで三時間、更にローカルバスに乗り換え、 揺られること1時間、果てしなく広がるパームヤシ のプランテーションを抜けると国立公園の麓の集落、



クアラ・タハンに到着する。そこを流れるタハン川の向こう岸には約1億3000年前から続く広大な熱帯雨林が広がっている。公園内には1万種以上の動植物や昆虫が生息していて、それらは熱帯さながらの、感動するほどの色鮮やかさや、ユニークな生態を持ちあわせる。また運が良ければ(もしくは運が悪ければ)野生の虎、豹、象にも遭遇することができ

るそうだ。そしてジャングルの奥地には未だに原始的な暮らしを営むマレーシアの原住民オラン・アスリが住む集落が点在していて、彼らの原始的な生活ぶりをひと目見ただけで我々現代人はショックを受ける事は間違いだろう。このような最後の楽園とも言えるマレーシアの秘境には、毎年多くの旅行者や学者達がこのジャングルに『探検』しにやって来る。タマンヌガラはまさに現代に残された最後のアドベンチャーの舞台と言えるかもしれない。

国立公園のハイライトはやはりジャングル・トレッキングだ。草木をかき分け、川を渡り、様々な動植物と遭遇しながらの森歩きはまさに『探検』だ。奥に行けば行くほど森が深くなり、まさに芸術といえるような動植物を始めとする大自然の驚異に出会う事ができる。自然や探検好きの人にはこのような TV や図鑑の中の世界に実際足を踏み入れる事はこの上ない喜びとなるだろう。公園入口は周辺はよく整備されているのでジャングル内の軽い散歩でも十分楽しめるし、また数日間のハードコアなトレッキングも出来る。なので本格的なトレッカーから

子連れまで楽しめるのがこのトレッキングコースの魅力だ。また山歩きに飽きたら、ボートでジャングル深部へ繰り出すのもトレッキングとは違う気分を味わえる。川遊びしたり、現地のガイドと一緒に釣りをしながらマレーシアの人々の文化や生活について話し合うのもひと味違った楽しみ方だ。

マレーシアはこういった豊かな自然環境に恵まれているため、自然系ツーリズムでも世界中から注目を浴びている。マレーシアにはタマンヌガラの他、ボルネオ島のキナバル山登山等といった原生林トレッキングができる所が数箇所ある事が魅力的だ。タマンヌガラはバスを乗り継いでしか訪れることが出来ない為、誰もが簡単に、気軽に来れる所ではない。それ故、神秘的な感じが一層ワクワク感を掻き立てるかもしれない。しかし集落には酒類が売られている店やカフェ、バー等が無いので酒飲みには物足りない所ではある。

原始の森から現代に戻るとあの自然が恋しくなる。タマンヌガラは自然の美しさはもちろん、人間も自然の一部である事を思い出させてくれる場所だ。

【モンゴル通信】第 2 号 **厳冬のナーダム** **バー・ボルドー**

2014 年 2 月 26 ~ 27 日、中国国家主席習近平氏が内モンゴル自治区シリングル盟を視察した際、真冬のナーダムも見学した。このナーダムは本来習主席の歓迎のために特別に開かれたものではなかったが、そのご訪問に合わせるために何度も延期された。とは言え、国家首脳がナーダムを観覧すること自体きわめて珍しいことだが、真冬のナーダムとなれば異例中の異例である。



ここで注目したいのは、あまり聞きなれない真冬のナーダムである。内モンゴルでは、近年厳冬に行なわれるイベントが盛んになってきている。その代表的なイベントが、Mo'ngon O'vliin Naadam、つまり「銀冬のナーダム」である。



総合的な銀冬のナーダムでは、真冬のラクダ・レース、ラクダ・ポロ、競馬、雪祭り、プフ大会などが行われるが、ラクダ文化祭、雪まつりなど特定の種目で行われるものもある。また旧正月前の旧暦 1 月 23 日はモンゴル民族の火祭にあたり、各家庭で静かに行なわれるが、今年は特に集団的に行われる場合が多かった。それらの背景には地方財政が潤ってきたことや真冬を逆手にして娯楽を創出したいという公的機関や住民らの思惑があるだろう。

いずれにしても、イベントにはモンゴル相撲とプフは欠かせない存在である。従来プフは、主として 5 月から 6 月にかけて行なわれるオボー祭り（天地神祭祀）と盛夏に行なわれる各地のナーダム（祝祭）で行なわれるのが一般的である。プフ力士たちにとって暖かい季節は大会に出場する機会が多く、寒い季節は体を休ませがちであった。実際マイナス 20 ~ 30 度にも達する冬季にはナーダムを開くこと自体が無理であったのだ。

銀冬のナーダムでは、もっとも規模が大きいのは、フルンポイル市で開かれた祭りである。内モンゴル自治区冬季ナーダムとして位置づけられているほどである。2013 年 12 月 23 日か

ら一ヶ月間、フルンボイル市の各地で伝統文化をテーマとしたさまざまなイベントが行われた。



ラクダ・レース、長距離競馬、周回競馬、ラクダ橇、馬橇、ブフ大会、弓射などである。また満州里では、中国、モンゴル、ロシア三ヶ国の美女コンテストや民族ファッションショーなども開かれた。新疆ウイグル自治区和静県バヤンボラ格・銀冬のナーダムではヤク・レースも行われた。このように各地区の銀冬のナーダムは当該地域の特色を出し切っている。



こうしたイベントは、民族文化の保存や保護、発展に役立つばかりではなく、観光資源として国内外の観光客を誘致し、大きな経済効果をあげているようだ。しかし、昨年大雪で大きな被害を被ったシリングル地方では、遊牧民の救済や支援よりも雪まつりを優先し、社会的批判を浴びるなど問題点も指摘されている。また毎年規模を拡大して開催される銀冬のナーダムは税金の無駄使いや官僚の娯楽に供されているという非難の声もあり、銀冬のナーダムはその目的と運営方針を明確にして、地域住民に恩恵が与えられるように開催されることが大事ではないかと考えられる。

メディア・ユーラシア情報 ネットリサーチ

東京外国語大学「日本語で読む中東メディア」が注目 <http://www.tufs.ac.jp/common/prmeis/fs/> です。

【北アジア】

ウクライナ危機の深淵 今もうごめく“スターリンの亡霊”

2014.4.6 09:00

ロシアがクリミアを併合して冷戦後の世界が直面する最大の試練となった「ウクライナ危機」。その端緒を探ると、ヤルタ会談で第二次大戦の結果としてソ連のスターリン首相が領土不拡大の原則を破って、北方領土とともにポーランド領だったガリツィア地方をソ連(現ウクライナ)に編入したことに行き着く。スターリン主義が生んだ悲劇にいまも国際社会は苦悩している。(岡部伸)

自国民保護を理由に武力を背景に独立国家の主権を侵害してクリミアを併合したロシアの領土強奪は国際秩序を揺るがす暴挙だ。

一方、ウクライナの新政権の正統性にもロシアなどから疑問符が付けられている。支持勢力には、ガリツィア地方(西ウクライナ)を基盤とするウクライナ民族至上主義者やナチス・ドイツに協力した国粋主義者を崇拝する反ユダヤ主義者がいるからだ。

歴史をひもとくと、ウクライナ西端のガリツィア地方はもともと、ハプスブルク帝国(ハンガリー・オーストリア帝国)の版図で、帝国解体後、18世紀末から第二次大戦まで主にポーランドに属していた。ヤルタ会談で第二次大戦後ポーランド国



境を西に移動させることが決まり、カーゾン線によってソ連領(現ウクライナ領)に併合された。それまで帝政ロシアやソ連領となったことはなかった。

このガリツィア地方が、ソ連領ウクライナ(東部、南部、中部)と統合して現在のウクライナとなるが、19世紀、ハプスブルク帝国時代、多言語政策が取られ、多くの人は現在も日常的にウクライナ語を話し、カトリック宗徒である。帝政ロシア時代から「小ロシア」と呼ばれ、ロシア語を話し、正教徒で広義のロシア人アイデンティティーを持つ東部とは文化的に大きく異なる

ガリツィア地方は、ハプスブルク帝国時代から独立の動きがあり、1939年独ソにポーランドが侵攻されると、41年ドイツのバルバロッサ(ソ連侵攻)作戦を支持し、「反ソ」でヒトラーとともに戦う。当然ながらナチスに付いた彼らは反ユダヤ主義で、ユダヤ人虐殺に関与したとされる。

ガリツィア地方は、ハプスブルク帝国時代から独立の動きがあり、1939年独ソにポーランドが侵攻されると、41年ドイツのバルバロッサ(ソ連侵攻)作戦を支持し、「反ソ」でヒトラーとともに戦う。当然ながらナチスに付いた彼らは反ユダヤ主義で、ユダヤ人虐殺に関与したとされる。

大戦末にソ連赤軍が侵攻してくると反共パルチザンとして大戦末にソ連赤軍が侵攻してくると反共パルチザンとして抵抗、ドイツ敗北でソ連に併合されても1950年代半ばまで反ソ闘争を続けた。

その後、ソ連支配を拒む市民はカナダのアルバータ州エドモントンに亡命。その数は120万人にもものぼる。中には、滅亡したハプスブルク帝国の末裔(まつえい)もいる。このエドモントンが、ウクライナを独立させようとする運動の拠点になり、ペレストロイカ時代から資金援助して支援してきた。今回の政変でも支援し、民族主義をたき付けたといわれる。

スターリンの領土拡大主義によってロシア(旧ソ連ウクライナ)の領土に編入されたガリツィア地方は、北方領土と同様にスターリン主義の犠牲となった。

69年の歳月を経て、そのクビキから離れたものの、今度はロシアのクリミア併合を招いた。スターリンの亡霊はなおうごめいている。

大戦末にソ連赤軍が侵攻してくると反共パルチザンとして抵抗、ドイツ敗北でソ連に併合されても1950年代半ばまで反ソ闘争を続けた。

その後、ソ連支配を拒む市民はカナダのアルバータ州エドモントンに亡命。その数は120万人にもものぼる。中には、滅亡したハプスブルク帝国の末裔(まつえい)もいる。このエドモントンが、ウクライナを独立させようとする運動の拠点になり、ペレストロイカ時代から資金援助して支援してきた。今回の政変でも支援し、民族主義をたき付けたといわれる。

スターリンの領土拡大主義によってロシア(旧ソ連ウクライナ)の領土に編入されたガリツィア地方は、北方領土と同様にスターリン主義の犠牲となった。

69年の歳月を経て、そのクビキから離れたものの、今度はロシアのクリミア併合を招いた。スターリンの亡霊はなおうごめいている。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140406/erp14040609020003-n1.htm>

ウクライナ東部でデモ 露編入主張、州庁舎侵入

2014.4.7 00:01

ウクライナ東部ドネツク中心部で6日、親ロシア派住民約2000人がロシア編入を求めるデモを行い、ロシア国旗を掲げたデモ隊の一部が州政府庁舎に侵入した。ウクライナのメディアが伝えた。

東部のハリコフやルガンスクでも親露派のデモが行われた。インタファクス通信によると、ハリコフでは各地域が広範な自治権を持つ連邦制の導入を求める親露派のデモ隊と、ウクライナ民族主義を掲げる極右「右派セクター」のメンバーの間で小競り合いが起きたという。(共同)

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140407/erp14040700030000-n1.htm>

東部国境で破壊活動計画の15人拘束、自動小銃300丁押収 2014.4.5 23:28 [欧州]

ウクライナ国家保安局は5日、ロシアとの国境地帯の東部ルガンスクで武器を使つての破壊活動を計画していたとして、15人の身柄を拘束し、自動小銃300丁などを押収したと発表した。10日に蜂起を計画していたという。ウクライナのメディアが伝えた。(共同)

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140405/erp14040523300003-n1.htm>

ウクライナ首相が露の天然ガス値上げ通告「拒否」

2014.4.5 21:51 [ロシア]

ウクライナのヤツェニウク首相は5日の閣僚会議で、ロシアがウクライナ向けの天然ガス価格の割引を破棄し、3月末比で約8割増の値上げを通告していることについて「政治的圧力による価格は受け入れない」と述べ、値上げ前の価格での購入継続を求めると述べた。

ウクライナは天然ガス供給の6割をロシアに依存。新政権を承認しないロシアはクリミア編入に加え、ガス供給など経済面でも圧力を強めている。

ロイター通信などによると、プロダン・エネルギー相はロシアとの交渉が不調に終わった場合には、国際的な仲裁裁判所に提訴する可能性にも触れ、圧力にあくまで対抗する意向を表明した。(共同)

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140405/erp14040521530002-n1.htm>

「デモでの発砲に前大統領と露工作員が関与」ウクライナ新政権 2014年04月04日 09:06 発信地:キエフ/ウクライナ

【4月4日 AFP】ウクライナの暫定政府は3日、2月の反政権デモで90人近い死者を出した2日間の流血の惨事の責任は、ロシア情報機関の工作員と、退陣に追い込まれたピクトル・ヤヌコビッチ(Viktor Yanukovich)前大統領にあるとする調査結果を発表した。

雪に覆われたウクライナの首都キエフ(Kiev)中心部で続いていた警官隊とデモ隊の衝突は、2月18日に何者かが発砲したことで一気に激化した。デモ参加者の中には金属製の盾しか持っていなかった人もおり、多数の命が失われた。

警官隊とデモ隊の双方が、先に発砲したのは相手側だと主張している。これまで正式な調査結果は公表されていなかったが、アルセン・アバコフ(Arsen Avakov)内相代行は3日、報道陣に対し暫定的な調査結果を発表。その内容は断定的で、ウクライナの新指導部とロシアのウラジーミル・プーチン(Vladimir Putin)大統領の関係を決定的に悪化させる恐れもある。

アバコフ氏は、ヤヌコビッチ前大統領がデモ参加者への発砲という「犯罪的な命令」を出し、ロシア連邦保安局(Federal Security Service, FSB)の工作員らがこの攻撃の計画と実行を支援したと主張した。

また、ウクライナ保安庁のバレンティン・ナリバイチェンコ

(Valentyn Nalyvaichenko) 長官も同じ記者会見の場で、「FSB のスタッフがいわゆる反テロ作戦の計画と実行に関与した」と話した。

これに対し、FSB のある報道官は国営ロシア通信 (RIA Novosti) で、ウクライナの主張は明らかに間違っていると述べた。ロシアのセルゲイ・ラブロフ (Sergei Lavrov) 外相も、「非常に多くの証拠」がウクライナ側の主張と食い違っていると指摘した。現在ウクライナは、この事件の数日後にロシアに入ったヤヌコビッチ前大統領を、市民に対する発砲を警察に命じた容疑で指名手配している。前大統領は容疑を認めていないが、これにより今後数年間はウクライナには戻れない可能性が高い。

アルセニー・ヤツェニユク (Arseniy Yatsenyuk) ウクライナ暫定首相は英国放送協会 (BBC) に対し、「ヤヌコビッチ前大統領は起訴される。大量殺人の容疑がかけられており、法の裁きを受けさせる」と述べた。(c)AFP/Oleksandr SAVOCHENKO and Olga ROTENBERG in Moscow

<http://www.afpbb.com/articles/-/3011723>

プーチン露大統領は「ヒトラーのよう」、クリントン前国務長官 2014 年 03 月 06 日 16:45 発信地:ワシントン D.C./米国

【3月6日 AFP】ヒラリー・クリントン (Hillary Clinton) 前米国務長官は、ウラジーミル・プーチン (Vladimir Putin) 露大統領によるウクライナ、クリミア (Crimea) 半島への軍事介入の動きについて、1930 年代にナチス・ドイツ (Nazi) のアドルフ・ヒトラー (Adolf Hitler) が取った行為と比較して批判した。米カリフォルニア (California) 州の新聞が伝えた。

米紙ロングビーチ・プレス・テレグラム (Long Beach Press Telegram) によるとクリントン氏は 4 日、カリフォルニア州南部で開かれた会合の席で、プーチン大統領が旧ソビエト連邦圏のウクライナ国内のロシア人とロシア系住民の保護を理由に軍事介入を正当化しようとしている点は、ヒトラーが諸外国に暮らすドイツ民族の保護を口実に軍事行動を起こした事実を思い

【西アジア】

増加し続けるシリア難民

<http://jp.reuters.com/news/globalcoverage/mideast>

【中央アジア】

高級ホテル襲撃「パキスタン関与」をアフガニスタンが示唆 2014 年 03 月 24 日 18:38 発信地:カブール/アフガニスタン

【3月24日 AFP】アフガニスタンの首都カブール (Kabul) の高級ホテルで 20 日夜に起きた襲撃事件について、ハミド・カルザイ (Hamid Karzai) 大統領が委員長を務める同国の国家安全保障委員会 (National Security Council、NSC) は 23 日、「アフガニスタン国外で」計画されたものだと述べ、パキスタンの関与を示唆した。

外国人に人気の「セレナホテル (Serena Hotel)」を襲ったのは、4 月 5 日に控えているアフガニスタンの次期大統領選を、暴力によって阻止することを宣言している旧支配勢力タリバン

起こさせると述べた。

クリントン氏は、プーチン大統領がウクライナ国内にいるロシアと結び付きのある住民にロシア国籍の旅券 (パスポート) を発行しようとしているとも指摘した。

そのうえで、プーチン大統領がクリミア半島の駐留軍を増派したことについて、「どこかで聞いた話のような気がするなら、それは 30 年代にヒトラーがやったことだ」「ヒトラーは、チェコスロバキア (当時) やルーマニアなどに暮らしていたドイツ系住民が正当な扱いを受けていないと主張し『私が行って守らなければいけない』と言っていた』などと語ったという。(c)AFP

ウクライナ東部で「ドネツク共和国」樹立を宣言 住民投票実施の方針も 2014.4.7 21:47

【モスクワ=佐々木正明】ウクライナ東部ドネツクで州庁舎を占拠した親露派のデモ隊は 7 日、「ドネツク人民共和国」の樹立を宣言し、平和維持軍としてロシア軍部隊の派遣を要請した。共和国樹立の是非を問う住民投票を 5 月 11 日までにしようとしている。

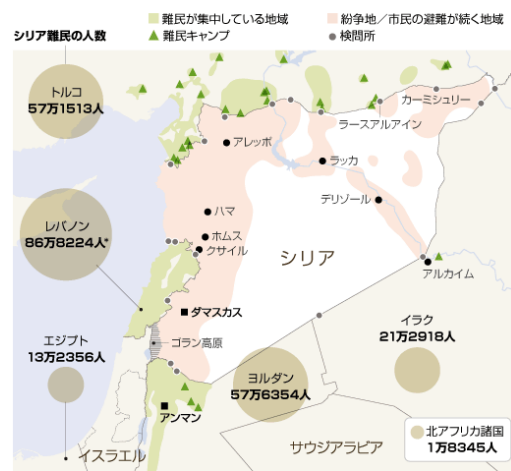
デモ隊は数百人で宣言の実効性は不明だが、ドネツクのロシアへの編入も求めており、ウクライナ南部クリミア半島に続いてロシアが領土拡張に動くようなら、欧米の反発は必至だ。

6 日には、ドネツクのほかハリコフ、ルガンスクの東部各都市で親露派住民の大規模デモが行われ、一部が暴徒化して州政府庁舎や警察関連施設を占拠。地元メディアによると、ハリコフではデモ隊が庁舎から退いたものの、ルガンスクでは警察施設に侵入したデモ隊が倉庫から武器を奪い、抵抗を続けている。

ウクライナのトゥルチノフ大統領代行は 7 日、「分離主義と国家に対する武器の使用は安全保障上の脅威をもたらす。重罪であり、われわれは厳格な対応を取る」と強調。ドネツクとルガンスクに治安部隊を派遣し、デモ隊の強制排除を行うことを示唆した。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140407/erp14040721480003-n1.htm>

国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) によると、エジプト、イラク、ヨルダン、レバノン、トルコなどに 240 万人のシリア難民が戦火を逃れて暮らしている。



難民の数は 12 月 31 日から 1 月 13 日現在。* 難民登録待ち 54 万 8,985 人を含む
出典: 国連難民高等弁務官事務所、米国防省、各社報道 (2014 年 1 月 14 日作成)

(Taliban) の未成年メンバー 4 人組で、その場で全員射殺された。犠牲となった民間人 9 人は、フランス通信 (Agence

France-Presse、AFP) のサルダール・アフメド (Sardar Ahmad) 記者 (40) 夫妻とその子ども 2 人の 4 人、さらにもう 1 人のアフガニスタン人、その他、カナダ人 2 人、米国人 1 人、パラグアイ人 1 人。

この事件について NSC は声明で「目撃者の証言や予備情報の分析は、このテロ攻撃がアフガニスタンの外の他国の情報機関によって直接実行されたことを示している」と発表した。また NSC は、襲撃の前にセレナホテルの廊下を調べるパキスタンの外交官が目撃されていたと主張している。

パキスタンはアフガニスタンの旧支配勢力だったタリバンの主要な後ろ盾であり、アフガニスタン当局は以前から、パキスタンの強力な情報機関とイスラム原理主義勢力であるタリバンとの間につながりがあると疑念を呈している。

今年に入りカブールで外国人や外国人が集まる場所が標的とされた重大な襲撃事件は 3 度目。こうした類の襲撃によって、大統領選で独立選挙監視委員会が効果的に機能しなくなり、選挙の信頼性が損なわれる可能性が恐れられている。

2001 年の米同時多発テロ後、政権の座を追われたタリバンが率いる反政府勢力と、米軍の主導で 13 年間、戦闘を続けてきた北大西洋条約機構 (NATO) 軍は現在、撤退しつつある。タリバンと対峙するアフガニスタンの治安部隊は、この駐留 NATO 軍 5 万 3000 人の支援を失うため、大統領選が問題をはらむ結果となれば、選挙の勝者は弱い立場に置かれるだろう。(c)AFP

<http://www.afpbb.com/articles/-/3010898>

選挙事務所をタリバンが襲撃、5 人殺害 アフガニスタン
2014 年 03 月 26 日 14:20 発信地: カブール/アフガニスタン

【3 月 25 日 AFP】(一部更新、写真追加) アフガニスタンの首都カブール (Kabul) で 25 日、旧支配勢力タリバン (Taliban) の戦闘員らが独立選挙委員会 (Independent Election Commission、IEC) の事務所を襲撃し、警察官ら 5 人が殺害された。

タリバンは 4 月 5 日に予定されている大統領選を暴力によって阻止すると宣言しており、戦闘員らに対し、投票所のスタッフや有権者、治安部隊を標的とした攻撃を呼び掛けている。

カブール西部のダルラマン (Darulaman) 地区にある独立選挙委員会の事務所で起きた襲撃事件では、治安部隊と武装勢力との戦闘が 4 時間以上に及び、警察官 2 人と地方議会の議員候補 1 人を含む 5 人が死亡した。

また、アフガニスタン内務省のセディク・サディキ (Sediq Sediqqi) 報道官によると、治安部隊は武装勢力の戦闘員 5 人を殺害した。

同国ではこのほか、北部のクンドゥズ (Kunduz) 州で起きた自爆攻撃、東部クナル (Kunar) 州での銀行を狙った攻撃で、それぞれ 5 人が死亡。同日の死者数は計 15 人に上った。(c)AFP/Email HAIDARY

<http://www.afpbb.com/articles/-/3010971>

タリバンがアフガンの米ゲストハウスを襲撃、少女含む 2 人死亡 2014 年 03 月 29 日 10:29 発信地: カブール/アフガニスタン

【3 月 29 日 AFP】大統領選挙を 1 週間後に控えたアフガニスタンの首都カブール (Kabul) で 28 日、旧支配勢力タリバン (Taliban) の戦闘員らが米国の地雷廃絶に取り組む慈善団体が使用していたゲストハウスを襲撃、少女 1 人を含む 2 人が死亡した。

アフガニスタン特殊部隊とタリバン戦闘員との戦闘は 3 時間以上に及び、その間、幼い子ども数人を含む外国人のグループは路上の発電機の後ろに一時的に避難した。

カブール警察のモハマド・ザヘル (Mohammad Zaher) 署長は AFP の取材に対し「通りがかりのアフガニスタン人の少女 1 人が死亡した。建物内からは、無事に 31 人の外国人を避難させることができた」と述べた。また、アフガニスタン内務省によると運転手 1 人が死亡したという。

同日の襲撃では、5 人のタリバン戦闘員がゲストハウスの前で自動車爆弾を爆発させ、攻撃は日没後に特殊部隊が同建物に戦闘員を追い詰めるまで続いた。アフガニスタン警察によると救出された外国人はアメリカ人 2 人、ペルー人 1 人、マレーシア人 1 人、オーストラリア人 1 人で、タリバン戦闘員 5 人は全員が殺害された。

タリバンは攻撃について犯行声明を出し、教会としても使用されているという外国人ゲストハウスが標的だとのべている。

地雷廃絶に取り組む慈善団体「平和の根 (Roots of Peace)」のアフガニスタンの責任者、シャリフ・オスマニ (Sharif Osmani) 氏は、ゲストハウスが襲撃を受けたことを認め、アフガニスタン人 3 人が負傷し別の 3 人が建物に閉じ込められたが救出されたと語った。

米サンフランシスコ (San Francisco) に拠点を置く同団体は、地雷原をぶどう園や果樹園に変えるプロジェクトを展開しており、アフガニスタンでは 2003 年から活動している。

カブールで外国人や外国人が集まる場所を標的にした襲撃は今年に入って 4 度目。タリバンは 4 月 5 日の大統領選挙を暴力的に阻止すると誓っている。(c)AFP/Usman SHARIFI

<http://www.afpbb.com/articles/-/3011181>

AP 通信の女性カメラマン 1 人が撃たれ死亡、アフガニスタン
2014 年 04 月 04 日 20:47 発信地: カブール/アフガニスタン

【4 月 4 日 AFP】大統領選挙を翌日に控えたアフガニスタンで 4 日、東部ホースト (Khost) 州で外国人女性ジャーナリスト 2 人が男に撃たれ 1 人が死亡、1 人が重傷を負った。

州当局者は AFP の取材に対し、女性記者 2 人は警察本部内で撃たれたと語った。警察によると 2 人を撃った男は警察官の制服を着ていたという。

2 人については米 AP 通信 (Associated Press) が首都カブール (Kabul) から、撃たれたのは自社の記者とカメラマンだと発表した。死亡したのは国際的評価の高いドイツ人カメラマン、アンニャ・ニードリングハウス (Anja Niedringhaus) 氏で即死だったという。

重傷を負ったのはキャシー・ギャノン (Kathy Gannon) 記者で 2 発撃たれており、治療を受けているという。

ホースト州は、パキスタン北部の情勢不穏な部族地域、北ワジ

リスタン (North Waziristan) と国境を接しているが、北ワジリスタンにはアフガニスタンで要人や外国人を狙った襲撃を繰り返しているとするパキスタンの武装組織「ハッカニ・ネットワーク (Haqqani Network)」の拠点がある。

アフガニスタンで大統領選期間に入ってから欧米のジャーナリストが殺害されたのは、ニードリングハウス氏が 2 人目。先月 11 日にはカブールで、スウェーデン公共ラジオのベテラン記者、ニルス・ホーナー (Nils Horner) 氏 (51) が何者かに銃撃されて死亡している。

また、先月 20 日には、カブール市内の高級ホテルが旧支配勢力タリバン (Taliban) の武装グループに襲撃され、外国人 4 人やフランス通信 (Agence France-Presse, AFP) の記者とその家族ら計 9 人が死亡している。

アフガニスタン史上、初めての民主的な政権交代となる 5 日の大統領選を前に、首都カブールでも要人らを狙った攻撃が相次いでいる。(c)AFP

<http://www.afpbb.com/articles/-/3011804>

アフガニスタン大統領選 初の民主的政権交代へ
2014.4.5 18:00 [国際情勢分析]

アフガニスタンの大統領選が 5 日に投票される。現職のハミド・カルザイ大統領 (56) は 3 選禁止規定で出馬できず、8 人による戦いになっている。このうち、アシュラフ・ガニ元財務相、アブドラ・アブドラ元外相 (53)、ザルマイ・ラズール前外相の 3 人が有力候補とされる。かつて内戦や権力闘争で混乱を極めてきたアフガンは、初めて民主的な政権交代を迎えることになる。

大統領選、混乱か

暫定結果は 24 日、最終結果は 5 月 14 日に発表される。選挙は混戦模様となっているため、過半数を取る候補はいないとの見方が強く、その場合は決選投票が 5 月 28 日に行われる。しかし、すでに約 1200 万人の有権者数をはるかに上回る登録者カードが出回っているとされ、前回選挙同様、結果をめぐって不正を訴える候補が出る可能性もある。決選投票は準備への手間取りもあり、大きく後へずれ込むと懸念されている。

また、イスラム原理主義勢力タリバンは、選挙を妨害するテロを激化させている。今年になって、カブールの選挙管理委員会本部や外国人が集まるレストラン、高級ホテルなどを立て続けに標的にしており、国連職員など多くの外国人や記者も犠牲になっている。有権者は暴力の脅威の中で投票所へ足を運ぶことになる。

選挙後に退任するカルザイ大統領は、2001 年の米国による攻撃で国際テロ組織アルカーイダをかかまっていたタリバンの政権が崩壊して以降、12 年以上にわたって新生アフガンを主導してきた。米欧、日本などからの巨額の支援を元に、内戦

の荒廃からアフガンをよみがえらせることに尽力した。

カルザイ氏の功績は教育

アフガンの政治評論家ハキヤー氏は「大きな功績の一つは教育の向上だ」と述べる。

かつてタリバンは女子教育を禁止し、男子からも近代的教育から遠ざけ、マドラサ (イスラム神学校) での宗教教育を強めてきた。タリバン時代に学校へ通っていた子供は 120 万人に過ぎず、中でも女子は 5 万人以下だったとされる。その後女子生徒数は劇的に増え、アフガン政府は、学校で学ぶ子供の数は 1050 万人を超えたとしている。

社会基盤も向上し、ハキヤー氏は「以前はほとんどなかった舗装道路があちこちにでき、経済活動に貢献している」と指摘した。

米国もアルカーイダの基地をたたき、首謀者のウサマ・ビンラーディンを殺害してテロ掃討で成果を挙げた。

一方で、外国部隊の完全撤退やシャリーア (イスラム法) の厳格な適用を求めるタリバンは勢力を保ち、平和への脅威となり続けている。アフガンは、テロや交戦での巻き添え、さらに米軍による誤爆などもあり、多くの民間人の死者を出してきた。国連は昨年、こうした犠牲者が前年から 7% 増え、2959 人に上ったと発表した。統計を取り始めた 07 年以降で最悪だった 11 年と同水準だった。

待ち受ける課題の数々

タリバンの資金源になっているケシの栽培面積は昨年、過去最高の 20 万ヘクタール強に増加した。農民が依然、違法麻薬の材料となるケシに生活を依存し、代替作物への変更がいつかに進んでいないことを示し、今年末までの国際治安支援部隊 (ISAF) 撤退後の混乱を不安視した農民がケシ栽培へ回帰しているとみられている。

汚職の蔓 (まん) 延 (えん) もやまない。世界の政治腐敗を監視している非政府組織 (NGO) が昨年発表した世界の「腐敗認識指数」によれば、アフガンは 175 位で、北朝鮮、ソマリアと並び世界最悪の汚職国家だった。国連の報告によれば、国民の半数が公共サービスを受けるために賄賂を払っているという。

対テロ戦での甚大な犠牲や汚職への批判はカルザイ大統領に向き、政権と米国との関係の悪化は決定的になっている。タリバンとの和平交渉の開始は頓挫したままで、大統領は和平が見通せないことなどを理由に ISAF 撤退後の米軍の駐留を可能にする米兵の地位を定めた両国の安全保障協定への署名を拒否し続けている。

大統領選の有力候補 3 人はいずれも署名に前向きな発言をしているものの、新大統領にはアフガンに積み残されたいくつもの課題が待ち受けている。

(いわた・ともお ニューデリー支局)

【南アジア】

「子どもの巨大肖像」で米無人機攻撃に警鐘、パキスタン

2014 年 04 月 08 日 15:17 発信地: イスラマバード/パキスタン



パキスタン北西部カイバル・パシュトゥンクワ (Khyber Pakhtunkhwa) 州で、上空から撮影された、米国の無人機による攻撃で両親を亡くしたとされる少女の巨大な肖像 (撮影日不明) (c)AFP/INSIDE OUT PROJECT

【4 月 8 日 AFP】パキスタンのアーティスト集団が、米国の無人機攻撃の標的となってきた部族地域に上空から見えるよう大きく拡大した子どもの肖像を設置することにより、無人機操縦士らの間に「共感」を生み出そうとしている。

「NotABugSplat (つぶされた虫ではない)」と銘打ったこの企画では、論争の的となっているパキスタン北西部カイバル・パシュトゥンクワ (Khyber Pakhtunkhwa) 州での一連の米無人機攻撃で両親を亡くした少女の写真を、草原に設置された巨大ポスターの写真が公開された。この写真自体もまた、小型のヘリコプター型無人機を使用して上空から撮影された。

「bug splat (つぶされた虫)」とは、米国の無人機操縦士らが、ビデオカメラを通して攻撃による犠牲者がどのように見えるか言及するために使用しているとされる言葉。

匿名を希望して取材に応じたアーティストの 1 人は、「上空からカメラがとらえる物をできる限り再現しようとした」と語った。「人々が小さな虫のように見えるのがわかるでしょう。人間が小さな点にしか見えない時と、大きな顔として見える時にこれほどの差があるということを、私たちは浮き彫りにしたかった。共感と反省の念を生み出すことを願っている」

アフガニスタンとの国境に接するパキスタンの部族地域は、アフガニスタンの旧支配勢力タリバンと国際テロ組織アルカイダ系の武装勢力の拠点となっており、2004 年から米無人機の最大の標的となってきた。

無人機による攻撃は、パキスタン国内で大きな反発を招いてお

り、罪のない数百人の人命を不当に奪って同国の主権を侵害しているとして、強く非難されている。

英国の非営利団体「調査報道局 (Bureau of Investigative Journalism, BIJ)」は、こうした攻撃によって少なくとも 2296 人と一般市民 416 人が死亡し、このうち少なくとも 168 人は子供だったと発表している。

しかし、無人機攻撃の支持者らは、この死者数を疑問視するとともに、イスラム武装勢力「パキスタンのタリバン運動 (Tehreek-e-Taliban Pakistan, TTP)」のバイトゥッラー・メスード (Baitullah Mehsud) 司令官やハキムラ・メスード (Hakimullah Mehsud) 司令官などの重要人物の殺害は、無人機攻撃によって成功したと指摘している。(c)AFP

<http://www.afpbb.com/articles/-/3011981>

インド総選挙で投票始まる 広大な国土、5 月 12 日まで
2014.4.7 12:41

【ニューデリー=岩田智雄】インドの下院 (定数 545) の任期満了に伴う総選挙が 7 日、一部地域で始まった。広大な国土を持つインドでは、投票は 9 回に分けて 5 月 12 日まで行われ、開票は同 16 日に行われる。各種世論調査で優勢が伝えられる最大野党、インド人民党 (BJP) はこの日、マニフェスト (選挙公約) を発表した。

投票があったのは北東部アッサム・トリプラ両州の一部の 6 選挙区。有権者らが、投票所の前に長い列を作った。選挙は、大統領の直接指名 2 議席を除く 543 議席を小選挙区制直接投票で選び、12 日までに全 28 州とデリー首都圏など連邦直轄地での投票を終える。世界最大の民主主義国家インドの有権者数は、約 8 億 1400 万人。

10 年ぶりの政権をうかがう BJP の首相候補、ナレンドラ・モディ氏は 7 日、マニフェストの発表に当たり、「貧しい人々の教育と健康の権利を確保することが最優先だ」と訴え、「内外の安全保障上の脅威を許さない」と強調した。

与党、国民会議派はすでに、4% 台に失速した経済成長率を 3 年以内に 8% 台に回復させるとしたマニフェストを発表している。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140407/asi14040712460001-n1.htm>

[東南アジア]

信号受信も水深 4500メートル 「搜索、非常に困難」

2014.4.7 20:54

【シンガポール=吉村英輝】行方不明になっているマレーシア航空機の国際的な搜索を調整するオーストラリアのヒューストン前国防軍司令官は 7 日、不明機の飛行状況などを記録した「ブラックボックス」が発した可能性のある信号をオーストラリア艦船が 2 回、計 2 時間半にわたり受信したと発表した。消息を絶ってから 8 日で 1 カ月。「これまでの搜索で得られた最も信頼できる手がかりだ」と述べた。

信号はオーストラリア西部パースの北西約 1700 キロの海

域で、6 日から 7 日にかけての 24 時間に、米海軍提供の曳航 (えいこう) 型探知機で捉えた。1 回目は 2 時間 20 分間、2 回目は 13 分間、それぞれ受信した。

同海域から南に約 600 キロ離れた海域では 5 日、中国の巡視船も同種の信号を約 1 分 30 秒受信しており、この確認も急ぐ。

ヒューストン氏は、信号情報をさらに集めて発信源の位置を絞り、撮影装置などを備えた米国提供の無人潜水機で残骸の発見を進める方針を示した。ただ、信号を受信した海域が潜水機の最大深度と同じ水深約 4500メートルと深いことから、「長期にわたって非常に困難な搜索になる」とした。

[東アジア]

尖閣めぐり米中国防相が火花 米「日本守る」、中国は「武力を使う用意ある」と威嚇

2014.4.8 19:43 【尖閣諸島問題】



会談に臨み撮影に応じる中国の常万全国防相とヘーゲル米国防長官(左) = 8日、北京 (AP)

【北京 = 川越一】AP通信によると、中国を訪問しているヘーゲル米国防長官は8日、北京で常万全国防相と会談し、中国の東シナ海上空での防空識別圏設定を批判し、「日中間の係争において米国は日本を守る」と述べ、日米安全保障条約に基づく日本防衛義務を果たす考えを表明した。

会談では東シナ海や南シナ海、朝鮮半島情勢などで意見交換した。その中でヘーゲル氏は「事前の協議もなしに、係争となっている島の上空に、一方的に防空識別圏を設定する権利は、中国にはない」と述べた。

米国はこれまで、尖閣諸島(沖縄県石垣市)が日米安保条約の適用範囲との立場を示す一方、当事者同士による問題解決を主張する中国に配慮し、日本や、南シナ海で中国と領有権を争うフィリピンの支持を明確に示す言葉は避けてきた。

ヘーゲル氏の踏み込んだ発言に対し、常氏は「自ら日本との争いをかき回すようなことはしない。しかし中国政府は領土を保護する必要があるれば、武力を使用する準備はできている」と威嚇。「米国は日本の行動を油断なく警戒しなければならないし、

アジアンレポート拡充のためボランティアスタッフを募集します。お問い合わせください。

ニュースレターへの感想をお願いします。

【寄付のお願い】今回のツアーの最後に、シカチアリヤン村のキャンプ(1,5畝)をユーラシアンクラブに贈与する手続きを開始します。かつキャンプの税金や光熱費を支払うため、ハバロフスクのワンルームアパートを第三者に賃貸し、この「賃貸料」でキャンプの支払いに充てたいと希望しています。そのためアパートの修理、法的手続き(窓枠交換、壁紙の張り替え、正式通訳報酬、代理人交通費等)で40万円ほど必要となります。クラブの共通財産としてシカチアリヤン村の住民と協働して活用するためです。ご理解ご協力お願いいたします。

日本政府に対し寛大になり、支援してはならない」と要求した。

http://sankei.jp.msn.com/world/news/140408/chn1404081946_0005-n1.htm

北、9日に最高人民会議 体制強化 正恩人事に注目 2014.4.7 08:20

米韓と緊張、結束訴え

北朝鮮の最高人民会議(国会に相当)13期第1回会議が9日、平壤で開かれる。同会議には金正恩(キム・ジョンウン)体制下で初の代議員選挙(3月9日)で選ばれた人々が集まり、国防委員会や内閣の人事が行われる。昨年12月の張成沢(チャン・ソンテク)前国防副委員長の粛清を受け、権力上層部の顔ぶれを決め、金正恩第1書記は体制強化を図る。(ソウル 名村隆寛)

最高人民会議には金第1書記を含む代議員687人が出席する見通し。注目の人事では、金永南(ヨンナム)最高人民会議常任委員長や崔泰福(チェ・テボク)同会議議長、崔竜海(リヨンヘ)軍総政治局長ら従来の最側近が引き続き高いポストに就くことが確実視される。張氏に近かった人物はずでに代議員から外されたとみられる。

代議員は選挙で、返り咲き(第11期以前の代議員)を含む377人が新たに選ばれ、全体の54.9%に上った。この中には最近、金第1書記の公式活動への頻繁な同行が伝えられる党や軍の幹部が多く含まれ、金正恩体制下でどれだけ抜擢(ばってき)されるかが注目される。

朝鮮労働党中央委では崔輝(フィ)宣伝扇動部第1副部長や趙延俊(チョ・ヨンジュン)組織指導部第1副部長、黄炳瑞(ファン・ピョンソ)副部長、朴泰成(パク・テソン)副部長、軍では張正男(ジョンナム)人民武力部長、朴正川(ジョンチョン)上将らで、いずれも金正恩体制で前面へと出てきた人物だ。

発行：特定非営利活動法人ユーラシアンクラブ 発行人：江藤セデカ
住所：〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-11-5 TEL：03-5376-9343
支部愛川サライ〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 6314 - 1
TEL：046-285-4895 FAX：046-265-0167 E-MAIL：paf02266@nifty.ne.jp
郵便振替：00190-7-87777 ユーラシアンクラブ お振込の場合：ゆうちょ銀行〇一九店 当座預金 0087777 ユーラシアンクラブ 会費、ご寄付はこちらへ。会費は正会員年間1口3,000円、学生会員1,000円、賛同会員2,000円。一口以上のご協力をお願いします。

<http://eurasianclub.org/>

2014 0401 Non Profit Organization Eurasian Club

編集後記：植民、移住、多数派住民、少数派住民、そして「在留邦人の保護」。繰り返された国家民族宗教の興亡史の原因(因縁)は、「邦人」ではなく、「国家・帝国の利益=資源の確保」だった。アンドロノヴォ文化以来続く、男系結社支配の構造を変えないとだめだ。「国家の時代」を終焉させ、「新しい国家像」の模索が必要だ。「少数派の価値」限りなく個人が背負う文化に敬意を払える価値観が必要だ。ヒラメ人間が多く、「棄民」が平然と行われている人類に未来があるのかな。「民族の共生」「自然との共生」を模索する活動を一層進めなくてはならない。「交流と対話」をキーワードに活動を見直したい。(お)